

ゆざわまち

議 会 だ よ り

平成25年
第110号
7月21日
発行

本日は
参議院議員
通常選挙
投票日です

大源太湖

※一般質問は、FM放送とユーストリームによる動画配信をしております。

CONTENTS

目次

この人に会いました／編集後記	18
あの質問はどうなった	17
議会に一言／	
議員表決結果報告	16
一般質問	15
議員全員協議会	7
閉会中の委員会調査	6
議長不信任案動議	4
町長行政報告	3
開会中の委員会報告	2
特別会計補正予算	2
平成25年度 一般会計補正予算	

●ユーストリームによる、インターネット中継配信の利用方法を行っております。

- ① 湯沢町ホームページから
- ② 町議会情報を選択
- ③ USTREAMインターネット中継を選択
- ④ ページ内にある、USTREAMリンク先を選択してください。

※必ずページ内の注意（免責）事項をよくお読みください。

●インターネットにより本会議の音声配信を行っております。

- ① 湯沢町ホームページから
- ② 町議会情報を選択
- ③ 本会議録音音声の中継を選択
- ④ 目次から、日付を選択してください。



平成25年度

一般会計補正予算 審査特別委員会

6月5日(本会議12日)

特別委員会賛成全員で可決

委員長 高橋 綾夫

4,531万円を追加して
総額76億5,275万円

歳入の主なもの

繰越金.....3,741万円増
県支出金(商工費県補助金).....500万円増

歳出の主なもの

湯沢町観光協会補助金(宣伝業務分) 2,000万円増
小学校閉校記念事業補助金.....100万円増
道路新設改良費.....250万円増

主な質疑応答

問 雪国文学散歩道はいづ整備するのか。

答 着手は7月ごろになる見込み。

問 地域の元気臨時交付金の湯沢町配分はどれくらいか。

答 2億4000万円ほどで、使用道は今後協議をすることになっている。

問 コミュニティ助成事業補助金は、需要のある町内会も多いと思うが、この制度は皆さんにお知らせした方が良くと思うので、活用方法を研究したい。

国民健康保険特別会計補正予算

6月12日 賛成全員で可決

歳入歳出それぞれ57万8000円を増額。

病院事業会計補正予算

6月12日 賛成全員で可決

資本的支出予定額を872万5000円増額。

開会中の常任委員会 審査報告

総務文教常任委員会

委員長 今村 定一

厚生福祉常任委員会

委員長 佐藤 守正

●請願第1号

「30人学級実現、義務教育費国庫負担金制度2分の1の復元に係る意見書の採択を求める請願書」については、賛成全員で採択すべきものと決定。

●陳情第1号

「違法な臓器生体移植を禁じることを求める陳情」は、賛成少数で不採択すべきものと決定。

●陳情第2号

「年金2・5%削減の中止を求める陳情」は、賛成多数で採択すべきものと決定。

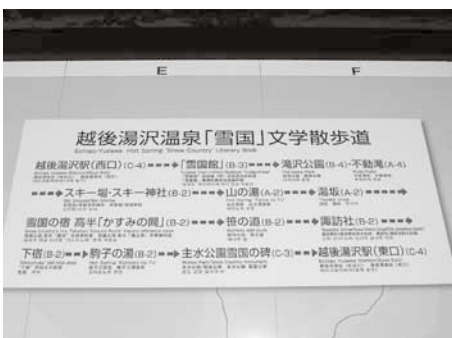
●議案第39号

「平成25年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について」は、賛成全員で可決すべきものと決定。

●議案第40号

「平成25年度病院事業会計補正予算(補正第1号)」については、賛成全員で可決すべきものと決定。

〈説明要旨〉 医療機器CTX線撮影装置2600万円、生化学自動分析装置1500万円、購入によるものである。



行政報告

町長 上村 清隆



湯沢町における平成24年度の観光のお客様の入り込みは、前年対比で約29万人の増加となり、東日本大震災前の平成21年度の総数には5万1000人ほど及ばないものの422万5900人で、前年比率では107・38%となりました。また、減少が続いていたスキーのお客様の入り込みも7万2000人上回り、久しぶりに250万人台を回復いたしました。

今年度からの10年間、町の健康づくりの柱となる「湯沢町ファミリー健康プラン」の第2次プランの策定が完了しました。第1次プランで積み上げた取り組みについて評価・検証し、湯沢町で自分らしくいきいきと暮らし続けるために、住民の健康意識を引き上げ、より良い行動を推進してゆくためのプランといたしました。住民の皆さま及び関係機関との協働による健康な町づくりに取り組んでいきます。

特別養護老人ホーム「ゆのさ

と園」の増床について、事業主体である南魚沼福祉会と地権者との補償契約を終え、4月30日には安全祈願祭が行われました。現在、工事が進められており、今年度中に完成予定です。

本年度の国民健康保険税については、今日の社会状況や経済状況から昨年度の税率に据え置いて国保財政を維持する方針を固めました。

医療費の伸びなど不安定要素が多いため、国保財政の厳しい状況は変わりませんが、皆保険制度の趣旨を踏まえ対応してまいります。

昨年度に契約した統合文教施設建設工事は3月末より本格的に施工が始まり、来年度4月の開校に向け施工業者の協力のもと、急ピッチに工事は進んでいます。

来年度の統合を控え4月に各小学校・中学校はそれぞれの学校での最後の入学式を終えましたが、子どもたちは希望に胸を膨らませて、それぞれの保育

園・学校で元気に頑張っています。

また、統合後のカリキュラムや体制作りは教師・保育士等で構成する「湯沢町学校教育研究協議会」を中心に検討協議し、統合学校開校へスムーズに移行できるシステム作りをおこなっています。

その中で今年度は12月に湯沢学園開校イベントとして、全町民参加型の「湯沢町教育フェスティバル」を計画し、全町民がオール湯沢で子供たちを見守る体制作りをおこないます。なお、今年度も「湯沢町教育カレンダー」を作成し全戸配布いたしました。

3月23日に柏崎・刈羽原子力発電所の過酷事故を想定し、1500人を動員した原子力防災訓練が新潟県の主催で行われ、湯沢町では情報伝達訓練及び即時避難区域に居住する柏崎市、刈羽村の住民約2000人を湯沢町公民館で受入訓練を実施しました。

決議の動議 否決（賛成2） （反対8）

半澤利貞議員提出の不信任決議案

議長は、議場の秩序を保持し、議事を整理し、議会事務を統理すべきものである。

議長の田村正幸君は、重要課題があり議員からの要請があるも、正当な手続きを取らなかつたため全員協議会の開会をおくらせる等、議会を混乱させ議員を不安に落とし入れた。

また、議会規則第53条にあるように、議長が議員として発言しようとする場合は議席につき発言しなければならぬ。中立であるべき議長が議長席から私見を述べたことは議長としてあ

るまじき行為である。更に最も重要な原究の再稼働反対の決議の提出に当たり、議会運営委員会で審議する

中で委員外議員である議長が「時期尚早だ。」と発言するなど、言語道断である。

このように議長は、公平公正に議会を運営し、また議会を代表すべきであるにもかかわらず、同君は議長としての資質が著しく欠けていると言わざるを得ない。したがって、同君を議長として信任しないものである。



(写真は資料)

賛成 討論

宮田 眞理子

この不信任案については大変残念なことであります。

田村議長が議長になりたいと言ったときから、応援してきたつもりでもありません。私自身も応援していただき、ありがたいと思っております。

しかし、この数カ月の言動にはひっかかるものがありました。議長の頭には「町長選」があったのでしょうか。議長は、議場の秩序を保持し、議事を整理し、議会事務を統理すべきものであります。残念ですが、田村議長は議長として資質を欠くと判断し、賛成討論とします。

田村正幸 議長 不信任

反対討論

高橋 綾夫

提案理由通り議長として好ましくない事もあつたと思いますが、いきなり動議をだすのではなくまず議会運営委員会で正すべきと思います。その手順を踏んでいない不信任決議案には反対致します。またこの動議には町長選への何らかの思惑が感じられ、町民から「そんなことをしているよりきちんと行政チェックをし、町を良くする政策提案をしっかりと下さい」と叱られるのは明らかと考へ、私は本不信任決議案に反対致します。

南雲 正

議長の不信任要件は、その行為が町政運営や町民生活に重大な影響を及ぼした時に成立するものであり、提案された不信任要件は事実が確認されるものではないが、不信任要件の域に達するものではないことから提案には反対する。

しかしながら、議員の信頼と負託を受け議長に就任しながら議長辞任が議会に知られることなく、新聞報道等が先行してしまったことには信頼関係を裏切られた感があり残念なことである。

7月22日辞職が報道されたが後の人事、報酬等の節減を考慮し、辞職については早期に本人の決断を期待する。

角谷 勉

この2年間を振り返ると、議長の職としての適格性に欠け、議会運営に支障をきたしたという事例は思い当たらず、逆に公平性、中立性を重んじてきたと考える。

提案理由の全員協議会の開催の遅れは執行部との調整も必要であり、また、議長席での発言も、自らの発言の申し入れを行ってからだたと記憶している。正すべき点に値するとは思わない。

それ以上に、今回の提案には町長選挙の思惑が感じられてならない。

課題が山積する湯沢町である、湯沢町をどのように変え、どのように活性化を図るのか政策論争で大いに議論を戦わせていただくことを要望する。

関 忠夫

私は【議長不信任決議案】の提出の動きがあることを知り、不信任内容を確認したところ提出に値しないと思いました。

不信任決議案の提出は議会の混乱を招く恐れがあると思ひ、提出の取り止めを求め働きかけました。また、一部同僚議員との意見交換を行ったところ「不信任決議に値しない」との声が多数ありました。

多くの人の意見を取り入れることも必要と思ひ意見交換をいたしました。が、「不信任決議に値しない」との意見に賛成し、私もこの【議長不信任決議案】に反対させていただきます。

岸野 雅人

田村氏の3月議員全員協議会での議長席からの発言は、確かに失策ではあったが、反省しこの議会の冒頭でお詫びをしている。

委員会、委員外議員にも関わらず発言したとすれば軽率ではあるが、考えが口から出てしまうことは、本決議案提出者の半沢議員も本会議中によくされていること。

田村氏は議長として完璧とは言えないとしても、議題とするほどに議長としての資質が欠けているとは思えない。

よって不信任決議案に反対をします。

閉会中の常任委員会調査

5/22
(水)
**産業建設
常任委員会
調査**

●新潟プレディスプレイストネーションキャンペーンと夏場観光の展開について
新潟プレD.Cの対応と夏場観光の展開についての事業内容等の説明を受ける。

●平成25年度産業振興対策について
農林振興対策、商工振興対策の平成25年度事業の説明を受ける。

●平成25年度地域整備事業について
三俣振興対策事業「道の駅」の進捗状況と平成25年度の地域整備事業（道路、都市公園、住宅、三俣振興対策、上下水道、他）の概要説明を受ける。

5/29
(水)
**厚生福祉
常任委員会
調査**

●湯沢町国民健康保険財政の現状について
厚生労働省保険局が作った「市町村国保の現状について」説明を受ける。

●ゆのさと園工事現場視察について
問 工事日程は。

答 11月までに躯体工事は終わり、2月末には完成の予定。入居は26年4月となる。

5/29
(水)
**総務文教
常任委員会
調査**

●平成24年度町税の収納状況について

●平成25年度徴税の課税状況について

●平成25年度 湯沢町生涯学習計画と文化振興について
生涯学習計画の目標は「人が育ち、地域を育む町」「自立する湯沢町民の育成」である。

●総合文教施設整備と学校統合に向けての諸政策について
問 本日に工期の日程は大丈夫なのか。

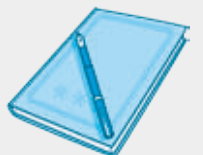
答 現在のところは予定通り進んでいる。

問 各小学校閉校記念行事の予定は。

答 10月19日～11月16日の間に、各学校で行う。

●総合型地域スポーツクラブについて

議会活動日誌



4月5日	第6回議会広報常任委員会 小学校入学式（午前） 湯沢中学校入学式（午後）
8日	第4回議員全員協議会
10日	第7回議会広報常任委員会
11日	JR東日本との意見交換会
12日	新潟県町村議会議長会（新潟市）
16日	第8回議会広報常任委員会
19日	第3回議会運営委員会
23日	第3回臨時会（会期1日） 第5回議員全員協議会
27日	ロープウェイ客車デザイン全面 改装記念式典
5月10日	南魚沼地域土地開発公社監査 （南魚沼市）
12日	春季消防演習 （湯沢・神立・土樽）
19日	春季消防演習・防災訓練 （二国・三俣）
22日	第3回産業建設常任委員会
24日	新潟県特別豪雪地帯市町村議会 協議会総会（二条市）
28日・29日	全国議長・副議長研修会（東京）
29日	第3回厚生福祉常任委員会 第3回総務文教常任委員会

議員全員協議会

第6回（5月31日）

神立高原スキー場について

従業員賃金未払いは、29日に清算人加藤氏から半澤氏へ未払い金額10万円以下は支払うとのこと。マックアースの事業開始は、11月頃になるが町との協議は8月頃以降になる。

主なQ（質問）・意見）& A

- 問 未払い賃金140人分は？
- 答 10万円以下は支払い済みで残りは月末。
- 問 施設の安全安心が担保されなければ、町有地を貸付けるべきでないか？



建設中の「道の駅みつまた」

- 答 きちんとした対応をしていきたい。
- 問 町への2100万円の寄付は問題ないのか？
- 答 問題ない。

第7回（6月12日）

「道の駅みつまた」の指定管理者について

みつまた街づくり協議会で指定管理者を受けることになった。公募によらない指定管理者である。計画書を提出することになっており、9月議会か臨時議会で議案を上げたいと思っている。

主なQ（質問）・意見）& A

- 問 みつまた街づくり協議会の身分は？
- 答 任意の団体。
- 問 11月頃オープンできるのか？
- 答 11月中旬の予定。
- 問 営業対応、能力は大丈夫なのか。
- 答 運営がうまくできるよう、行政も協力する。

湯沢高原スキー場について

湯沢高原の事業計画について資料で説明。27年度には黒字にしたい。スノーリゾートサービス（株）はハイランドパーク（株）と合併することになり、町も同意した。合併は8月1日を予定している。

主なQ（質問）・意見）& A

- 問 入込の状況報告がないが、町にはしているのか？
- 答 運営委員会にしている。
- 問 早く地代をもらえるようにしたい。合併でない方法の協議を行ったのか？
- 答 した。この方法が一番と思ってる。
- 問 合併の大きな理由は何か？
- 答 経営基盤の強化。管理コストのスリム化。



30日	南魚広域計画協議会（南魚沼市）
30日	南魚沼地域土地開発公社理事會（南魚沼市）
31日	第4回議会運営委員会
31日	第9回議会広報常任委員会
6月3日	上越新幹線活性化同盟会 平成25年度総会・講演会（新潟市）
5日～12日	第4回定例会（会期8日間）
9日	湯沢町ポンプ操法協議会
12日	第6回議員全員協議会
25日・26日	新潟県町村会議議長会臨時総会（栗島浦村）

質問

総合文教施設通学バス計画と 児童・生徒の登下校は どのような対応を考えているのか



関 忠 夫

問 三国、三俣、神立（芝原、七谷切）地区は、毎日の確実で安全な運行を確保する。下校時間は小学生用と中学生用の2便を運行する。運行ルートはどのように考えているか。乗車場所に待合所を設置するのか、伺いたい。

答 安全な運行を確保するために、専門業者への運行委託とすることとしている。基本的には国道17号がメインルートとなる。各地区とも可能な限り、地区内の小道等を通過し、乗降の便宜と安全確保を図りたいと考えている。乗降場所については、児童生徒の分布に合わせてその都度設定する。乗車場所に待合所を設置することは考えていない。

問 変動がある中で浅貝地区から現在の統合施設まで約25*くらい距離的にはある。安全運行を行うための

時間はおよそどれくらいを予定して運行させるのか。運行時間の予定を計画している時間とその辺の対応をどのように考えているのか。

答 具体的に通学班とかいろいろ希望を集約して11月21日に「湯沢学園に行こう」通学のシミュレーション等を行う。雪が降らないが、そういったシミュレーションなどを通して、来年4月までに細かいことを詰めて安全第一でやっていきたい。

問 湯沢・土樽地区は今現在も遠距離児童は路線バスを利用して通学している。概ね2.5*以上をバス通学とする。ただし、概ね1.5~2.5*の区間に住む1、2年生については徒歩がバス乗車を選択できる区域とする。「仮」スクールバス通学区域審査委員会」を設置し、統合的な視点から審議を行っている。通学区域審査委員会の組織メンバーと伺いたい。

「仮」設置要項を可決された。審査等は各学校から選択区域の希望等が集約された8月頃に行う予定である。11月21日「湯沢学園に行こう」と題して、試験登校を実施する予定である。試験登校で問題点などを洗い出し、来年4月からの通学に向けて準備を進めていく。

問 神立地区は芝原・七谷切地区を除き、全て徒歩での通学としたいとしている。除雪作業の原則として除雪路線に10*以上の積雪があった場合出動する。2、3種路線については15*以上の積雪とする。降雪の多い日は小学校1、2年生は安全・安心に登下校できるのか、歩道の確保と対応策を伺いたい。

答 国道、県道、町道の幹線道路については、全て歩道が設置されており、雪みち計画により歩道除雪が行われている。歩行者空間確保は今までと同様である。歩道除雪は降雪状況にもよるが、早朝・午前・午後と実施されている。雪みち計画については、地域整備課から来年度に見直しを実施することになっているので、十分協議して計画していく。

問 登校時、下校時、一般

車両が突っ込んで児童を死亡するという事例が報道されている。1、2年生を含めた児童が安全に徒歩で登下校できるようなことはこれから真剣に考えて検討していただき、町民の皆さんに安全を提供できるようにしていただきたい。

答 登下校等の児童生徒等

質問 旧ノリタ光学跡地の 除染について

問 早ければ6月より工事ははじめられるよう、業者の選定を進めているとのことだが、現在の進捗状況はどのようなになっているのか伺いたい。

答 除染工事の業者選定と現在の進捗状況を報告する。土樽地区土壌汚染対策工事として、除染方法等の提案をしてもらう広報型のプロポーザルを採用して業者選定を行った。5社が参加登録した。審査を行った結果、五洋建設(株)北陸支店の提案が最も良いと判断し、選定業者として決定した。工事金額は3億9900万円となっている。工事については7月から始まり、11月末には終わる予定になっている。

問 追加調査による状況等が判明次第、必要な報告は行っていきたいので、よろしく願いたい。

問 ノリタ工学の跡地、汚染がなくなったという保障がついた中で、湯沢町に欠けている就労の場所、雇用対策、これが大事になってくる。一刻も早く土壌の汚染を除去し、湯沢町に若者を含めた働く場所の確保を進めていただきたい。

答 除染作業をして、県の方から地下水汚染情報から削除してもらい、今、関議員指摘のように、若者が働ける企業を誘致できればと考えている。一日も早く除染を行い、使える場所になることを私も祈念している。

質問

「観光資源をエリアごとに整備・開発する」町の役割は



角谷 勉

「各地域・各エリアの観光振興策」の周知を図れ

問 「町民は自分の地域の観光振興策に高い関心を持っている、前の観光振興計画を踏襲するとしている、各地域に対しての考え方」はどのように周知するのか」という質問に「新観光振興計画のダイジェスト版を全戸配布するときに周知する。」と回答されたが実行されていない。

答 踏襲するのは、観光客のための観光地づくりではなく、住民のための魅力あるまちづくりという点であり、観光資源をエリアごとに整備・開発

する」という点ではない。

問 「前観光振興計画にはエリア別、地域別に方向性や具体策が細かく明記されている。なぜ、新観光振興計画には明記されていないのか」という質問に「前観光振興計画を踏襲しつつという表現で現わしている」と回答している。

答 踏襲するのは地域の特色や特徴についてであり質問を取り違えて回答した。お詫びし訂正する。



問 「行政、観光協会、事業者、一般市民の役割を明確にして、観光のまちづくりを推進する」と明記されている。各地域についての方向性や振興案が周知されなければ各役割は理解されない。「観光資源をエリアごとに整備・開発する」という項目で町の役割が二重丸になっているが、町は何をするのか」

答 手元に資料がないので後で報告する。

湯沢高原の投資計画、収支計画の公表はいつか

問 「湯沢高原の再整備に5年で約7億円、10年で10億以上の投資計画だが、事業計画はできているのか」という質問に「事業計画を立てなければ予算は組めない。予算が通ったら、細部を検討し提示する」と回答されたが事業計画・収支計画の公表はいつか。

答 少し時間がかかるが

資料を整理し適当な時期に公表する。

問 町民が関心を持っているのは、5年間の収支計画による累積赤字や借地料、施設利用料の年次ごとの推移であり、投資額の回収状況である。

答 6月12日に提示する。

万年橋の簡易式トイレを水洗に

問 「万年橋の簡易式トイレは利用人数も多く、不衛生であり観光立町として恥ずかしい、簡易式トイレはお客様に受け入れられない」という質問に「自然を楽しむ場合に問題となるのはトイレであり、人が落ちる場所にならないように取り組む」と回答されたが。

答 夏場だけの万年橋は簡易式トイレで対応せざるを得ない。衛生面は十分対処する。

問 トイレを整備する姿勢こそ観光立町の基本と考える。その姿勢こそが観光の活性化に通ずると考える。積極的な取り組みを要望する。

答 トイレの重要性は理解している。近くの町有地の有効利用と共に検討していく。

劣化が激しい北テニスコートの改修を早急に

問 「北テニスコートは劣化が激しく、プレーに危険が生ずる状態である。町のホームページには各種大会や合宿に最適」と書かれているが町の姿勢が問われる。」という質問に「ホームページを確認してないが、現場と合わせて確認し、お客様に迷惑がからないようにする」と回答されたが、ホームページは従来と同じ、テニスコートの劣化はさらに激しくなっている。

答 見積もりをとり検討したが、予算の都合もある。今後も多角的に検討を続けるが、当面は正確な情報を提供した上で貸出し方法を検討し対処する。

質問

湯沢病院に 整形外科の常駐を



半澤利貞

問 足腰の弱い高齢者の多い今日、湯沢町から群馬に、あるいは六日町ララの整形外科に通う人が多い。特に群馬からは患者の送迎までしている。

病院開設の際は、合宿やスキーを業とする当町では、医師の確保を条件とした。病院側は対応して来なかった。開業から10年、約束が守られていない。経営不振ということで、昨年度は3000万円の補填をした。

医療協会は塩沢に診療所を出す計画と聞いている。それほどの余裕があるのなら、当初の約束通り、整形外科の常駐を願っていたが、当局の考えを伺います。

答 県立病院でも医師不足で苦慮している。町も



火・木・金曜と対応してもらっていた常駐も願っているところです。塩沢の道の駅の診療所

は振興協会が湯沢病院の入院患者を増やすための施設と聞いている。

質問

観光地にふさわしい トイレの建設を

① 穴沢河川公園にトイレを建設してほしい。親水護岸を訪れる人は多い。仮設のトイレは見苦しい。

② 万年橋にトイレを。

・周辺を改修して、当該地のレベルアップを図れ。

・中子墓地の延長でマンション住民に墓地の販売をして、町有地の利活用を図れ。

③ 旭原のトイレは石堤の改良で工事の邪魔になり、撤去しなければ...

と言われている。農業用水の溜池を取得し、資材置場として提供して駐車場にすべきだと言いつつ続けた。トイレも代替えとして作ってほしいと思う方がいい。

金が掛かる現状であり、あの景観を生かした川の駅を考え、トイレの設置と合わせて進めたい。

② 万年橋のトイレは、宅

地造成の道路側を中子墓地延長墓地公園とし、マンション住民に必要があれば販売したい。それによってトイレや水場も造れると思う。

③ 旭原のトイレは農業用水用溜め池の払い下げを急いでいるが、昨年造ったトイレの移動をしなくても済みそうであり、指摘の溜め池は駐車場として活用したい。

① 穴沢公園のトイレは、高低差等問題があり、今取り組んでいる。民間のトイレにゴミを捨てたり、町は修理にお



旭原 ため池

質問

湯沢町のスキー選手の成績は



白井 孝 雄

問 昨年の成績は、中学生の若月・園部についてはまずまずであったと思う。長谷川絵美の世界選手権19位、皆川賢太郎のコンチネンタルカップ総合優勝も素晴らしいと思うが、他の小・中・高校生の成績は。

答 長谷川・皆川選手の活躍は素晴らしかった。中学生の若月選手の全中入賞、イタリアの国際大会優勝は特筆すべきである。しかし他の選手の成績は、思い通りにはいかないのが現状。

問 平成13年から始まったジュニアスキー選手育成会であるが、思うような成績をあげていないのが現状である。来年の湯沢学園開校と同時に組織の大幅な見直しをしてはどうか。

答 アルペンの町湯沢と言われるように、来年の湯沢学園開校に合わせて組織の改革をしていきたい。指導者の不足等で苦戦している。スキー関係者の協力が不可欠である。

問 キー関係者・行政で彼らにエールを送る意味で後援会を作っては。

答 両選手の活躍はジュニア選手に夢をあたえるもので、町の財産と考えたい。行政がお金を集めるのは難しい。スキー関係者が中心になり後援会を作ってほしい。どちらにしても両選手のオリンピック出場を願っている。

問 長谷川絵美・皆川賢太郎両選手が、来年2月7日から始まるソチオリンピック出場を目指して現在頑張っている。ス

問 両選手が、来年2月7日から始まるソチオリンピック出場を目指して現在頑張っている。ス

質 問 布場スキー場にポール専用バーンを作っては

問 現在、布場スキー場は再スタートを切ろうとして、いろいろ検討されている。

そこでぜひ布場スキー場に小・中・高校生の

ポール専用バーンを作り、平日学校が終わってから、また土・日曜もポールトレーニングができるようにしてほしい。それが現在低迷しているジュニアスキーの活性化につながると思うが。

答 布場スキー場の営業について、平成23年・24

年の収支を見て判断する。決算の確定が8月になるので、それを見て今後の営業については検討させていただく。

布場の夏場営業とも考えて、みんなで真剣に検討し、子どもたちのためになるようにしていきたい。

質 問 サル・クマ対策について

問 発信器をつけて冬期のサル・クマの行動調査をするとのことだったが、うまく監視できたのか。

答 2月・3月に実施。すべての群れの把握ができた。冬期の調査もできる

るので、今後個体数調整に役立てたい。

夏期に比べ冬期の活動範囲はかなりせまい。

問 今年度のサル・クマの具体的な対策は。

- 個体数の調整
- 発信器を新たに4台取り付け
- 追い払いパトロールの

- 強化
- 生熊調整
- サル一頭に6500円の支払い
- モデル地域の実施等

問 三俣・二居・浅貝の国道にサルが出没しているが、国交省とも交渉して「餌をやらなくていい」等の看板を出したらどうか。

答 三俣・二居・浅貝方面はたくさんサルの国道に出没している。国交省とも相談してみたい。



質問

北陸新幹線開業、東北新幹線函館延伸による首都圏観光客の分散対策を



南 雲 正

問 2015年春の北陸新幹線の開業後には上越地域への来訪者が85万人増え、新潟方面は71万人減少するという調査結果が発表された。今まで上越新幹線を利用していた旅行者が北陸新幹線を利用して上越、富山、金沢方面にシフトし、さらに2016年春の東北新幹線の函館延伸による首都圏観光客の分散も追い打ちをかけることとなる。観光の町湯沢にとっては、観光客の減少を最小限に食い止め、上越新幹線の本数削減をできるだけ防ぐための対策として雪国観光圏構想を基盤にした地域間連携により、湯沢の魅力を十分に発揮し、首都圏観光客の分散を最小限に食い止めなければならない。観光立町湯沢としての取り組み構想を伺いたい。

答 雪国観光圏構想を核とした広域連携は最も重要な対策の一つと位置付け、観光協会等が取り組む広域連携事業を支援し、少し出遅れもあるが北陸新幹線開通に向け町を挙げての取り組みを行う。

質 公民館への指定管理者制度導入と、無謀な定数削減計画を見直して役場組織の活性化を

問 公民館には生涯学習の振興、生涯学習社会の構築人づくり、地域づくりのために中核的な役割を果たしていくことが求められており、機能の一層の充実と活性化が期待されている。人口8300人の小さな町の行政運営は、少子高齢化が急速に進展する中、町民との隔たりをつくらず、行政自らが町民の中へ出向く行政運営が必要になってくる。公民館という町民にとっては身近な所に生涯学習の担当者がいないことで、「湯沢町まちづくり基本条例」に規定する「町民参加の権利」「町民参加の保障」の妨げになり、時代の要請に逆行するものである。

答 教育委員会では、職員定数が削減されることで公民館に職員を置くことができなくなるというが、定数削減の原点は無駄を省き、町民サービスに支障を来さない範囲での削減方針であるはずである。

東日本大震災においても行政職員の必要性は認識されたはずである。当町は交流人口で成り立つ町であり、安全安心のまちづくりの観点からも時代の要請にあつた職員定数の見直しを行うべきであり、公民館は、災害対策施設としても重要な施設であり、生涯学習、社会教育の館として町が運営すべきであると思うが、町長の方針変更を望みたい。

答 施政方針では来年度からの指定管理者導入を表明したが、年度当初からの実施にこだわらず、議会、社会教育関係者と慎重な協議を行い、共通理解を深めた後に行う。人件費の抑制は常に要請される課題であるが地方分権の進展や今後の状況の変化や統廃合の進展状況を見ながら対応したい。

質 多額の予算を費やし、除染工事を行う中子町有地を活用し、早急に若者の働く場の確保を

問 企業誘致も決まらない現状での多額の予算計上に疑問の声も出たが、円安株高効果で輸出企業を中心に業績が好転し、製造業の国内帰りが始まり、巨大地震の発生に備えた製造拠点の分散が検討され、企業立地の条件に高速道路を利用でき、本社や他の自社工場に近しいことを挙げている企業が多いという。

答 県も積極的に企業誘致に取り組み始めた中、このチャンス逃すことなく企業の求めている誘致条件等を再検討して、雪国の利点を活用したデータセンター等の誘致に取り組み、多額の除染経費を無駄にすることなく、念願である町民の雇用の場の確保と人口増への道筋をつけていただきたい。

除染工事は、広い遊休地を有効活用し町の活性化を図ることが目的であり、更に積極的な企業誘致に向けて誘致条件の再検討を研究する。

質 中学生の観光ガイドを地域特性を生かした教育の実践として継続支援を

問 地域関係者の献身的な協力により始まった事業であるが、国の観光庁が推進している子どもたちの「旅する心」「地域を愛する心」を育む取り組みでもある。この活動を通して生徒たちは郷土愛、人間関係、社会適応能力、自己理解、自己管理能力、課題対応能力等を学ぶことができ、生きた実践教育の場になっている。今後は、新潟県観光協会の

答 今後は観光協会の事業となつていくが、湯沢学園活動方針と一致し、教育活動の実践の場となることから、町、教育委員会、観光協会等の関係者が一体となり、この事業を発展させていきたい。

質問



佐藤 守正

公民館の指定管理移行は納得できない

問 今の運営体制のどこに問題があるのか、また指定管理への移行は利用者にとってどんな利便があるのか。

答 指定管理者になっても公民館の機能を果たす上で問題はない。今の体制では町の職員の配置替えのつど体制が変化するが、指定管理者になれば継続的で安定した運営体制になる。

ただ先に「公民館の指定管理については次年度当初からの実施にこだわらない」との町長答弁があったので、教育委員会としてもそれに沿って対応していく。

問 公民館活動のような高い目標を持って住民に奉仕するという仕事は、公務員だからこそ担える

仕事である。まちづくりのための生涯教育というのなら、それは公務員こそが担うべき仕事である。

答 指定管理者に任せる仕事は、公民館の管理、貸館業務、講座の運営、図書館の運営、文化祭などの事業である。これらの業務は民間に任せてもできる。

また生涯学習の企画や振興にかかわる業務は指定管理者と町職員が共同で担うので問題は無い。

問 法律は「公民館長な

どは教育委員会が任命する」となっているが、文科省は「指定管理者が雇うものは公務員ではないので、教育委員会の任命は不要である」としている。

しかしそれでは公民館へは教育委員会の指導監督が行き届かなくてもよいとしているに等しい。社会教育推進全国協議会もこの文科省通達の違法性を指摘している。公民館の指定管理移行は考え直してほしい。

質問 国保会員世帯には特別な配慮を

問 国保世帯の平均収入を示してほしい。

答 平成21年度は1220万6000円で一世帯当たりの平均被保険者数は1・8人、22年度は109万9000円で1・8人、23年度は101万6000円で1・8人、24年度は98万4000円で1・7人である。

問 今の数字を見ても、国保世帯の収入が年々下

がってきており、困窮度を深めてきていることは明かだ。高齢者二人暮らしの世帯の生活保護費は年額148万7400円であるが、それより低い所得で暮らす人々がたくさんいるのが国保である。国保税の値上げは、それらの層の人たちへの集中的な増税なので、慎重で配慮のある国保行政をやっていたideきたい。





人員削減計画の見直しを



岸野 雅人



問 「雪國」と「北越雪譜」は教育にどう活かされるのか。

答 5年生から中学3年生の資料集下巻に記載、『高半・かすみの間』見学も行う。

国語の授業でも、文学的な視点から読み解くことができなにかを検討している。

問 企業広告の募集を目にしている。行政に明

るさやスピードが感じられないが。

答 精一杯やっているが、その通りかもしれない。

質 行政の情報発信と観光宣伝に「SNS」の活用を

答 急速に普及している有効な手段であると理解している。また研究の必要を感じている。昨年6月から試験的な活用をしている。

問 その感想と成果は？

答 今日初めて見た。私が見えなくてもよいと感じた。（この後総務課長の補足答弁）

質 スキー場安全条例を制定すべき

問 条例の制定によりスキー場側と個人の責任を明確にし、トラブルを未然に回避したり捜索救助費用の請求も行っている自治体がある。当町もこれに学び体制を整えるべき時にきていると思うが。

答 村営スキー場が一つの、野沢温泉村とは事情が違う。指導や対応にあたっては、現状では問題ない。ただ、今年はスノーボーダーが津南の方まで行ってしまった。

問 スキー場からの遭難・捜索がニュース報道で流れます。一つには「遭難者と捜索隊の命の問題」。もう一つは、「観光地としての信用の問題」。できない言い訳の前に、意欲はないのか。努力はしたか。

答 確かに『湯沢町』と報道されてしまう。キチンとしたものを持つていくべきだろうと私も思う。来シーズンに向けて検討する。

質 空き家対策に条例が必要

問 この冬、空き家の雪庇が張り出し、通学路にも影響があった。安全面での不安は冬期の方が増す。空き家対策に真剣に取り組まねばならないと思うが。

答 必要性は感じている。法的な問題や費用負担の課題があり進んでいないが、次の冬に間に合うよう進めたい。

質 人員削減計画の見直しを

問 人口が減るから、財政力が弱いから理由に人員削減が進むのは乱暴だと思ふ。

問 平成28年度には定員を130人とする根拠は何ですか。

定住人口プラス労働人口、さらに年間400万人が訪れる町。何人の行政府を目指すのではなく、どんな行政府を目指すのが問われている。

答 一概に数字だけで判断できない。町民の迷惑にならぬよう取り組みたい。

今のままでは、暗く小さく萎んでしまうように思えてならない。町長の考えは。

問 現在の『定員適正化計画』の見直しは。

答 現在がアップアップの状況であれば、見直しなければならない。

問 平成28年度には定員を130人とする適正化計画を実施してきた。想定外の退職者や療養中の人もいて、余裕はないが、人件費の抑制は常に求められている。

答 確かに『湯沢町』と報道されてしまう。キチンとしたものを持つていくべきだろうと私も思う。来シーズンに向けて検討する。

質問

土地賃貸借変更契約後の 神立高原スキー場について



高橋 綾 夫

問 町長は契約の延長は絶対認めないという考えを議員協議会で表明し、その4日後には一変し延長を認める契約が仮調印され、臨時議会で承認されました。

その後社員の賃金が未払いのまま、社長の所在が判らないという記事が新聞に載りましたが、この件を町長はどのように考えているのかお聞きします。

答 大変残念な気持ちでいます。

問 最終決断をした議会に一番責任があると思うが、延長契約案を提出した町長の気持ちはどうか。
答 6項目の約束事項が4項目不履行で「やられた！」と思うし、最後までひどい会社だった。同

じことは二度三度と起こしたくないと思っている。
問 行政も議会も間違った判断をし、町民に迷惑をかけたわけで、広報等で町民にお詫びし、今後

契約事には町民に不利益を被らせない様しっかりと検討していただきたい。
答 今後はきちっとしていききたい。



神立高原スキー場

質 協働での町づくりと観光PRにIT戦略を駆使すべき

質 町民と協働での町づくりと経済対策を進めよ

問 「IT戦略課」もしくは町民を交えた「IT戦略委員会」を早急に設置し、町づくりと観光PRを進めてはと思いますか。
答 現段階では執行体制の中にIT戦略課や委員会の設置は考えてないが、重要性、必要性は感じているので引き続き検討していく。

問 ITを使えば効果的な観光PRや、町民の意思が反映された協働での町づくりが、安く出来ると思うか。
答 もうちよつと勉強した中で取り組みたい。

問 ITに明るい町職員や町民に検討していただき、提言を受けて行ってはどうか。
答 検討していきたい。

問 町民の知恵をフルに活用した、協働での町づくりと経済対策を町長の強いリーダーシップで行っていただきたいと思いますが、如何でしょうか。3期目の出馬表明をされた町長の決意を伺います。
答 この度行う町民懇談会も協働での町づくりの一方策と考えている。観光産業発展と共に新たな産業構築にノリタ跡地への企業誘致をし、活性化したい。湯沢町発展の為三期目を私の町政運営の集大成として、粉骨碎身の覚悟で取り組みたい。

問 ITに明るい町職員や町民に検討していただき、提言を受けて行ってはどうか。
答 検討していきたい。

問 ITに明るい町職員や町民に検討していただき、提言を受けて行ってはどうか。
答 検討していきたい。

議員表決結果報告 25年4月臨時議会・6月定例議会

- ・採決結果の記載方法（可＝賛成多数で可決・採択等の場合：否＝賛成少数で否決・不採択等の場合）
- ・表決結果の記載方法（議員個々の賛否：賛成＝○・反対＝×・欠席＝欠・除斥＝除）：議長は裁決に参加できません。

提出者		議案名	採決結果	岸野雅人	高橋綾夫	角谷勉	白井孝雄	関田忠夫	宮田眞理子	南雲正	今村定一	佐藤守正	半澤利貞	師田保	
町 長	4 月 臨 時 会	湯沢町税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		湯沢町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成24年度一般会計補正予算（第10号）の専決処分の報告について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成24年度国民健康保険特別会計補正予算（第5号）の専決処分の報告について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成24年度介護保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の報告について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		三俣地域情報交流センター建築工事変更契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成25年度一般会計補正予算（第1号）について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
提 出 定 例 会	6 月	湯沢町固定資産評価審査委員会委員の選任について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		人権擁護委員候補者の推薦について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		損害賠償の額を定めることについて	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		湯沢町大字土樽地内土壌汚染対策工事請負契約の締結について	可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
		平成25年度一般会計補正予算（第2号）について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成25年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成25年度病院事業会計補正予算（第1号）について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請 願 等	6 月 定 例 会	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		違法な臓器生体移植を禁じることを求める陳情	否	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	
		年金2.5%削減の中止を求める陳情	可	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議 会 提 出	6 月 定 例 会	議長不信任決議の動議	否	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	
		30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		年金2.5%削減の中止を求める意見書	可	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○

議会に

一言

開かれた議会とともに 各人のスキルアップを

男性（60代）

2年前の改選の結果、5名の
新人議員が議会に送り込まれた。

それまでの議会は情報提供が
「議会だより」と数ヶ月遅れの
議事録のみであり、他の市町村
のようにもっと情報提供の場を
設けてほしいと、少々不満で
あった。

期待と不安でこの2年間を見
ていたが、「FM雪国でのラジ
オ放送」、「インターネットでの
本会議の音声配信」、そしてこ
の6月議会から「議場へカメラ
を入れてのライブ中継」と、開
かれた議会が一步一步確立され
ていることは、大いに評価した
い。

先輩議員と新人議員がともに
取り組んだ結果では、と今後も
大いに期待したい。

同時に苦言を呈すれば、各議
員に求められているのは5年後、
10年後の湯沢町をどのような町

にするか、という各人の想いで
ある。

残念ながら、議会での各議員
の発言にはその点が感じられな
い。各議員は成功例、失敗例を
積極的に学び、町民の代表とし
てリーダーシップを発揮してほ
しい。もっと学べ！自分を磨
け！

忘れないでほしい、12人しか
いない我々の代表ということを。



追跡 レポート [第7回]

あの質問はどうなった

これまでの質疑の中から一部を取り上げ
その後の経過を追跡してみました。

議員の提案

町道赤湯線の拡幅整
備と安全対策の実施
を
(師田 保)

処理経過

5月29日に浅貝町内会長
とプリンスホテルの担当者
と現地を確認し、拡幅する
用地についてはプリンスホ
テルから無償で提供願ひ、
湯沢町が拡幅工事を実施す
る案で話をすすめている。
中越森林管理署とはこれ
から協議をしていく。
なお、実施については来
年度予算要望する。

議員の提案

若者が定住できる
町づくりのために
遠距離の通勤通学
の補助をしては
(白井孝雄)

処理経過

通勤・通学しやすい
環境づくりのため、7
月2日に町長がJR本
社に直接訪問し、要望
した。



この人に 会いました



二階堂パサナさん

二居在住

今回は母国であるタイからの観光客急増に、大変貢献している湯沢町観光協会外国人観光客対応サポーターの、二階堂パサナさん（二居在住）にお話を伺いました。

日本に来て今年で16年。5年ほど前からインターネットSNSを利用し、外国人（タイ人）向けに湯沢町の素晴らしさをアピールしています。長女を出産し子育てについて調べるつもりで見たブログサイトで強く印象に残った雪遊びの写真!! 日本のどこで撮った写真は分かりませんが、黒っぽい雪でも写真の中の人達は嬉しそうに笑っていました。

面白半分で家の周りの何気ない雪が積もり付いた杉の木の写真を投稿してみると、それが面白い位にいろんな人から「その写真きれ〜い!」「どこで撮ったの?」とか「もっと写真見せて!」とか大反響。「この杉の木の写真どこが綺麗なの!? 杉の木だよ!」

自然豊かで綺麗な雪国にしながら何も感じなかったんですね、あの頃。すべてがあたりまえのように思っていて、

その後も時々雪景色の写真を投稿していますが毎回大好評です。「こんな写真を撮りたい!」「この景色を自分のカメラにおさめたい!」「場所教えて! 行き方教えて!」等の問い合わせがいっぱい。それがきっかけで湯沢町をアピールするようになりました。

でも最初の頃は大変、自分の住んでいる町で良く知っているつもりが、実際聞かれると何も知らない事に気付く、家の人に聞いたり、あれこれ調べては伝える、の繰り返し。しかも外国とのやり取りなので時間差もあって、仕事や子育てで昼は忙しく、ほとんど夜しかブログ書けないのが事実。

書くたび皆から「湯沢に行きたい!」「湯沢の事もっと知りたい!」自分の町そんな風に言ってくれたら誰だって嬉しいですね。嬉しくて、楽しくて、夢中にやりました。夢中になりすぎて

ついつい夜更かし。当然朝寝坊、朝起きれません。(笑)

でも、嬉しい事に私には最強の理解者がいます。家族です。最初は「バカヤロー」と毎日!! 本当に毎日です。怒られました。今は私の呼びかけで年々増えるタイ人観光客を実際に側で見ているので、家族全員で応援してくれています。本当に感謝、感謝です。特に主人、朝起きれない時かばってくれて、朝ごはんを作ってくれます。もう一生頭上がりません。(笑)

7月1日から短期滞在を目的とした訪日ビザが免除されますので、一人でも多く私の大好きな「雪国湯沢町」に来てくれればと期待に胸を膨らませ、今日も、バカヤロー!と怒られながらカメラを持って写真撮りに出かけます。

www.facebook.com/LoveYuzawaTown
私が湯沢町を紹介しているフェイスブックのページです。良かったら見て下さい。



編集後記



広報委員会は6名で構成されおり、5名の新人議員が任命されてからちょうど2年がたちました。

「議会だよりの発行だけでなく、議会の情報をいかに提供するかが広報委員会の役目ではないか」という声により、先輩議員の指導のもと開かれた議会を目指してまいりました。読みやすい「議会だより」、「FM雪国でのラジオ放送」、「インターネットでの音声配信」、そしてこの6月議会から、試験的ですが議場へ簡易カメラを入れてのライブ中継に取り組みました。

今後、議員全員で身近な議会、開かれた議会を目指してまいります。が、まだまだ試行錯誤の状態です。皆様にはご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

広報委員長 角谷 勉

広報委員会

委員長 角谷 勉

副委員長 白井孝雄

岸野雅人・高橋綾夫

関 忠夫・宮田眞理子

編集 湯沢町議会広報常任委員会